

MieMu 出前授業

6月26日(水)5・6限目の時間に MieMu の出前授業がありました。まずは、それぞれのグループに分かれて、5月の校外学習の時に触ったはく製(イノシシ、ウサギ、クマ、シカ)を触察しました。動物の毛並みや体の大きさ、顔の形などの特徴について確認しました。その後、触ったはく製と同じ動物の頭骨を触察しました。目、鼻、口、角などの位置、はく製との大きさの違いなどについて調べました。みんなとても集中して触察し、はく製と交互に触りながら、その違いについて丁寧に調べていました。調べ終わった後、みんなで骨を触って気づいたことなどを発表したのです、今回はそれを紹介したいと思います。

○イノシシ

- ・ 牙が4つついていました。口を開くと上の歯と下の歯がありました。上の歯は大きくて下の歯は何本もありました。
- ・ 目の穴がとても大きかったです。穴が少しだけ開いているところもありました。口の中を観察すると歯が何本もありました。

○ウサギ

- ・ 骨を触ったら耳がありませんでした。口の中は歯が前の方にもありました。前の歯は上と下、両方ありました。
- ・ 軽くてとても小さかったです。後ろのところに穴が開いていて、何の穴かなと思いました。顎の骨は太いと思ったけど細かったです。

○クマ

- ・ 鼻の穴の中に何かがついていました。触ってみると、すぐに落ちて粉になってしまいました。口の中は歯がたくさんありました。
- ・ 鼻を観察すると中がじゃりじゃりしていました。小さな穴がたくさん開いていてスポンジみたいな骨でした。目と鼻のところにも穴が開いていました。

○シカ

- ・ はく製よりもとても迫力がありました。角ははく製と同じ形をしていました。骨を観察するとたくさん穴があって、一体何の穴かなと思いました。
- ・ 骨を観察すると、骨にも角がありました。骨には穴がたくさん開いていました。口の中を観察すると、歯がとても大きかったです。

